

組織

会長	鈴木誠	(院内小学校)
副会長	菊地邦彦	(東由利中学校)
	佐々木紀子	(尾崎小学校)
事務局	山下奈知	(本荘南中学校)
	宮田幸江	(尾崎小学校)
研究部長	関口琢也	(金浦小学校)
会計	須田秀二	(仁賀保中学校)

主な事業

令和6年度造形部総会	4/16	造形部研修会	12/6
本荘由利図工・美術の学び展	11/23～11/25	造形教育セミナーへの参加	8/7

研究会の記録

1はじめに

各校の教科研究や地区の研究会等で造形部員それぞれが研鑽を積み、指導法の研究や児童生徒の表現の在り方を考察すること、また、造形教育セミナーや本荘由利図工・美術の学び展、県児童生徒美術展など、様々な機会を捉えて積極的に研修することを当会の具体的な目標とした。

特に、本荘由利図工・美術の学び展は各校の造形活動の取組を紹介し合う機会であり、造形を通した表現について幅の広い情報交換とよい研修の場となっている。この学び展は、一昨年度から展覧会名を一新したものであり、名称の変更と同時に名札には作者の思いを入れて掲示するようにしている。「豊かな学び」という児童生徒の思いが生かされた表現の選出を通して、子どもの表現の見方や造形活動の在り方について研修することの意義は非常に大きいと考えている。

2各事業の成果

(1) 造形教育セミナーへの参加(8月7日)

秋田県造形教育研究会による「造形セミナー」に参加し、令和7年度の東北造形教育研究大会に向け、大会テーマや重点に基づいた貴重な講演を拝聴する機会を得た。「造形的な視点で”みつめ”、感性をはたらかせて思いを”めぐらせ”、自分としての意味や価値を”つくりだす”これからの図画工作、美術教育」という演題で、元文部科学省初等中等教育局視学官の東良雅人先生の講演を拝聴し、日々の図画工作・美術の指導について多くの示唆を得ることができた。

(2) 造形部研修会(12月6日)

由利本荘市市民交流学習センター多目的ホールを会場に、県児童生徒美術展に出品する本荘由利の作品を選出する審査会の場を活用して研修を行った。26年度から立体作品の審査も行っているが、各校の出品数を事前に報告してもらうことで審査時間を短縮することができた。造形部員にとっては、児童生徒の作品の傾向やよさ、課題について話し合う有意義な研修の場となっており、今後の授業に役立つ多くの情報を得る機会となった。

また、今年度も審査で選出された作品を、秋田市文化創造館にて展示することができた。

(3) 本荘由利図工・美術の学び展(11月23日～11月25日)

由利本荘市文化交流館「カダーレ」で開催した。テーマである「あっ、いいこと考えた」を反映した個性豊かな表現が数多く見られた。カダーレを会場として実施するのは今回で13回目ということで、3日間で2000名弱の来場があり、多くの方々に見ていただくことができた。出品作品の中から造形部が目指す表現を「豊かな学び」として選出した。各小中学校の教職員及び、造形部員の熱心な取組と各校の協力で、運営面・作品の内容ともにより充実した美術展となつた。

来年度も、本荘由利図工・美術の学び展が学習指導要領の趣旨に則った研修の場となるように協議を重ねていき、具体的な取組を各校に発信していく予定である。